

埼玉県 退職校長会

会報

題字・石田孝作

第173号

令和3年8月

会長 挨拶



埼玉県退職校長会

会長 石田 孝作

この度、6月の定期総会(書面議決)において会長に再任いただきました。

浅学非才の身ではありませんが、本会の志と伝統を受け継ぎ、「随流導流」の心構えを大切にして副会長や支部長、理事、幹事の皆様の英知と絆を大切に、会員の皆様のご期待・ご要望にこたえられますよう努める所存でございますので、ご指導・ご支援の程、お願い申し上げます。

さて、コロナ禍が依然として収束せず、現在も自粛生活が続いております。

この状況下により、令和3年度の本会のスタートは、昨年度に続き、多くの事業の変更を余儀なくされております。中でも6月4日(金)羽生市・羽生市産業文化ホールで開催予定でありました第57回定期総会が、会員の皆様の命と健康を守るために中止に至ったことは誠に残念でございました。

東部地区北埼玉支部の川俣実施委員長様を中心に実施委員の皆様には、この1年、定期総会実施直前まで入念なご準備、ご尽力をいただきましたこと衷心より感謝申し上げます。

埼玉県退職校長会は、現在、会員数3686名、10支部57班で構成され、会の活動の目的である「教育支援・社会貢献」と「会員相互の親睦と福祉の増進」に鋭意取り組み、会員の皆様のお骨折りにより所期の目的を達成しつつ

- 1 会長挨拶
- 2~8 総会書面議決結果について
- 8 慶祝叙勲
- 9~13 一人一言
- 14~15 新会員の声
- 16 文芸 編集後記

あることに厚く御礼申し上げます。

また、今年度は新入会員127名の方々をお迎えすることができ、本会のさらなる躍進の原動力としてのご活躍を大いに期待しているところであります。

ところで、皆様ご存じのとおりグローバル化の進展や絶え間ない技術革新、また、生産年齢人口の減少等、社会構造や雇用環境が大きく変化しております。

教育界においても、新学習指導要領が、小学校は昨年度から、中学校は今年度から全面実施されております。小学校では、新しく英語の「教科化」やプログラミング教育が必修化され、教師の働き方を工夫し、「授業の質の向上」と「授業の負担軽減」を図ることが急務とされております。

また、文科省は、GIGAスクール構想の一環としてI

CT教育の充実のためにタブレットなどの学習用端末を配備し、更に検討会議の中間まとめとして「デジタル教科書」と「紙の教科書」の併用についても公表しております。

コロナ禍という緊急事態にある教育を、学校教育現場に委ねるだけでなく、「社会総がかり」で着実に推進すべきであることは申し上げるまでもありません。今こそ、学校経営の経験者として退職校長会がお手伝いできる教育支援は何かを思索し取り組まなければならぬ時と強く考えるところです。

一方、年金・医療・介護など高齢者も痛みを伴う改革が不可避とされ、私たちの安心・安全な生活、親睦や豊かな生甲斐を保障するためには、力を合わせて取り組まねばならない課題が山積しております。そこで、これらの状況を踏まえ、本年度に本会が取り組む活動の三つの要点について記します。

その一 「教育支援・教育要望活動の一層の充実・進

展」
・「現職・退職校長支部別教育推進協議会」(14年前よ

り「彩の国教育の日」協賛事業となる)の一層の充実
・県当局への要望活動
・教育尊重の機運を一層高めるため、国民の祝日としての「教育の日」制定への活動

その二 「会員相互の福利・厚生活動の活性化の着実な推進」

・校長職のキャリアを生かす活動の場の確保などの要望
・将来展望の持てる制度の健全化のため、全国組織等と連携した運動を強力に推進

その三 「情報の共有化による会員相互の絆」の強化」

・会報年3回、ニュースレター
1年2回刊行の一層の充実
とHPの一層の有効活用
新型コロナウイルス変異株「デルタ」による感染も指摘される中、第5波の流行も懸念されております。

会員の皆様がご自愛の上、ご健勝にてご活躍されますことを心より祈念しつつ、本会への一層のご支援、ご協力をお願いし、挨拶いたします。